

# 阪神・淡路大震災から30年

「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」「繋ぐ」

## 1.17前後に県内各地で記念事業

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。どなたでも参加いただける県関係の主な記念事業をご紹介します。

### 【兵庫津ミュージアム企画展 阪神・淡路大震災30年特別展示「1995.1.17から30年。あらためて知る阪神・淡路大震災」】

《内容》阪神・淡路大震災からの30年を振り返る展示。防災絵本を出版する「防災100年えほんプロジェクト」も紹介  
《開催日》12月21日～令和7年1月19日《場所・問い合わせ》県立兵庫津ミュージアム ☎078-651-1868

### 【特別展「1995 ⇨ 2025 30年目のわたしたち」】

《開催日》12月21日～令和7年3月9日《場所・問い合わせ》県立美術館 ☎078-262-1011

詳細は2面イベントガイドをご覧ください。

### 【シンポジウム「災害と演劇を考えるー繋げる・繋がるためにー」】

《開催日》令和7年1月5日《場所・問い合わせ》ピッコロシアター ☎06-6426-1940

詳細は3面をご覧ください。

### 【特別展「阪神・淡路大震災を伝える・知らせるー情報と通信の1990年代ー」】

《内容》阪神・淡路大震災後の被災、支援、復興について、人々がどのように社会へ伝え、共有しようとしたのかを、1990年代の情報と通信のあり方から考える展覧会

《開催日》令和7年1月11日～3月16日《場所・問い合わせ》県立歴史博物館 ☎079-288-9011

### 【Yokoo 1995ー阪神・淡路大震災30年】

《内容》横尾忠則氏が被災地支援のためにデザインしたポスター(複製)などを展示。同氏から新たに寄せられたビデオメッセージも放映予定

《開催日》令和7年1月17日～5月6日《場所・問い合わせ》横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607

### 【シンポジウム「阪神・淡路大震災30年伝承事業ーこれまでの30年とこれからの文化財保護ー」】

《内容》震災時の文化財保護や今後のあり方について、次世代の自治体や民間の関係者への伝承を目的に開催。阪神・淡路大震災が文化財保護に与えた影響や課題、震災を契機に拡充した保護手法などの変遷を概観し、今後の文化財保護を考えます。

《開催日》令和7年1月18日《場所》県立考古博物館《問い合わせ》兵庫県歴史文化遺産総合活用推進実行委員会(県教育委員会文化財課内) ☎078-362-3783



兵庫県では特設サイト「震災30年阪神・淡路大震災 feel and think /」を開設。イベント情報等を随時発信しています



特設サイトはこちら



題字：井茂圭洞 (書家・文化勲章受章者)

# 450号

2024年12月号

SNS やっています!



Facebook



X (旧Twitter)



YouTube



Instagram

### 兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通  
4丁目16番3号 (兵庫県会館内)  
Tel.078-321-2002

編集・発行人/西上三鶴

(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長

▶ <https://hyogo-arts.or.jp>



## 兵庫県立ピッコロ劇団設立30周年記念 阪神・淡路大震災30年 第81回公演 ピッコロシアタープロデュース

# 「神戸 わが街」

ソートン・ワイルダー作 『わが町』より



谷口 遼



鈴木 あぐり

人々の生活や人生の尊さを描いたワイルダーの不朽の名作「わが町」。阪神・淡路大震災から10年目に、日本を代表する劇作家・別役実が、舞台を神戸に移して書き下ろしたのが、「神戸 わが街」です。震災から30年のいま、吉村祐樹の新演出で、世代を越えた名作を新たに紡ぎます。

【潤色】別役 実・ピッコロ劇団

【演出】吉村祐樹(ピッコロ劇団)

【日時】令和7年2月21日(金)19時、22日(土)11時★/16時★、23日(日・祝)11時/16時

★…視覚に障害のある方へ音声ガイドサービスあり(要申込)。

【会場】兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

【発売日】12月15日(日)

【入場料】全席指定 一般4,500円

大学生・専門学校生3,000円 高校生以下2,500円

★友の会会員は各1割引(本人のみ、事前予約・要会員証)

【出演】〈ピッコロ劇団〉孫 高宏、森 好文、櫻村千晶、岡田 力、今仲ひろし、中川義文、三坂賢二郎、有川理沙、鈴木あぐり、谷口 遼、岡島大祐、木下鮎美  
〈関西俳優陣〉高橋映美子、福重 友(南河内万歳一座) 今井ひとみ(神戸ドラマ倶楽部) など

【問い合わせ】ピッコロ劇団 ☎06-6426-8088



## 第30回 兵庫ふれあい美術展

新たな美の創造と、世代や分野を超えた人々が交流する場として、美術の創作活動に親しむ人々の作品を展示する公募型美術展です。今回も県内各地から寄せられた、さまざまなジャンルの作品を一堂に紹介しますので、個性豊かな秀逸作品の数々をぜひご覧ください。

【日時】12月19日(木)～22日(日) 10時～17時(最終日は15時まで)

【場所】原田の森ギャラリー本館2階・大展示室

【入場料】無料

【出展作品】日本画、洋画、彫刻、工芸(陶芸・染織・漆・人形・七宝・金工・木工・竹工・皮革・ガラス。切り絵など)、書、写真、鈴懸の径絵画(日本画・洋画)など

243点  
【問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078-321-2002



## 兵庫県美術作家交流展

県域美術団体の分野を超えた相互の交流を図るとともに、新進・中堅作家等の技術の研鑽を図ることを目的として当協会が実施しています。洋画、日本画、書、工芸、彫刻、写真



の6分野で、19人の作家が意欲的な作品を発表します。

【日時】12月19日(木)～22日(日) 10時～17時(最終日は16時まで)

【場所】原田の森ギャラリー本館2階・大展示室

【入場料】無料

【参加団体】兵庫県美術家同盟、兵庫県日本画家連盟、兵庫県書作家協会、兵庫県工芸美術作家協会、兵庫県彫刻家連盟、兵庫県写真作家協会

【問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078-321-2002

原田の森ギャラリー本館2階で同時開催!

# 令和6年度文化功労者に 文楽人形遣いの吉田和生さん



吉田 和生さん

令和6年度の文化功労者に文楽人形遣いの吉田和生さん(77)が選ばれました。先月5日に東京都内で顕彰式が執り行なわれ、あべ文部科学大臣から顕彰状が授与されました。

## 催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

### 原田の森ギャラリー ☎078-801-1591 ※入場無料



- 第14回神戸市シルバーカレッジ写真クラブOB会作品展〈東館1階〉  
写真約130点 ~12月1日(日)
- 工人の軌跡〈東館2階〉 写真約140点 ~12月1日(日)
- 第15回草心会全国書展〈本館1・2階〉 書約1000点 ~12月1日(日)
- 第76回正筆展〈全館〉 書約600点 12月7日(土)~8日(日)
- 第5回記念 二四紀会絵画展〈東館2階〉 油彩・水彩・アクリル約60点 12月10日(火)~15日(日)
- 現代童画会'24関西展 併催：関西支部展〈本館1階〉  
洋画・日本画・デザイン・切り絵約150点 12月11日(水)~12月15日(日)
- 創元会兵庫作家展〈東館1階〉 油彩・水彩・アクリル約80点 12月11日(水)~12月15日(日)
- 第9回 New 飛鶴展〈本館2階〉 書約80点 12月13日(金)~12月15日(日)
- 第101回弦月会展〈東館1・2階〉  
油彩・水彩・アクリル・デザイン約35点 12月17日(火)~12月22日(日)
- 第5回風光彩展(安田教室合同展)〈本館1階〉  
油彩・水彩約100点 12月18日(水)~12月22日(日)
- 第30回兵庫ふれあい美術展 併催：兵庫県美術作家交流展〈本館2階〉  
書・絵画・写真・工芸・立体等約260点 12月19日(木)~12月22日(日)
- 環社書展〈全館〉 書約600点 12月25日(水)~12月28日(土)
- キャンバスアート展~マイ・ムーブメント~〈障害者アートギャラリー〉  
水彩・アクリル・その他26点 ~12月27日(金)

### 兵庫県立美術館 ☎078-262-1011



- 阪神・淡路大震災30年 企画展 1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち  
12月21日(土)~2025年3月9日(日)  
6組7名のアーティストによるグループ展で、自然災害や紛争に見舞われる現代に求められる希望を考える展覧会。  
※観覧料1,600円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月12日(木)必着

### KOBE とんぼ玉ミュージアム ☎078-393-8500



- 花咲き鳥啼くガラスの世界 ~2025年1月7日(火)  
ランプワーク技法で創作された個性豊かなガラス作品。今展では四季折々の自然の美しい情景を映した9名の作家作品を紹介。  
※観覧料400円ほか【友の会割引あり】

### 西宮市大谷記念美術館 ☎0798-33-0164



- 戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見 ~2025年2月24日(月・祝)  
イエンス・ミュラー氏が設立した「A5コレクション・デュッセルドルフ」を日本で初めて紹介し、戦後西ドイツのグラフィック表現の魅力に迫ります。  
※入館料1,200円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月12日(木)必着

### BBプラザ美術館 ☎078-802-9286



- 開館15周年企画展 震災から30年 WAKKUN のもらった種とまいた種  
12月3日(火)~2025年2月2日(日)  
神戸市長田区出身のイラストレーターで絵本作家のWAKKUNによる大規模個展を開催します。  
※入館料500円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月12日(木)必着

### 芦屋市立美術博物館 ☎0797-38-5432



- 芦屋の文化財再発見 ー最新のヨドコウ迎賓館温室跡発見までー  
~2025年2月9日(日)  
市内遺跡の出土品を通して、芦屋市の発掘の歴史や、仏教美術資料など多分野にわたる当館所蔵の歴史資料も展示し、芦屋の歴史と文化の魅力を紹介いたします。  
※観覧料800円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月12日(木)必着

## 令和6年度 地域文化功労者大臣表彰

【受賞者のご紹介】(50音順)  
本県から3名が表彰されました。

延原 武春さん(81)



延原 武春さん



木津 露真さん

指揮者(神戸市) = 「テレマン・アンサンブル」を結成し、日本テレマン協会に発展。バロック音楽や室内楽を定着させ、阪神・淡路大震災では避難所コンサートで被災者を励ました。

木津 露真さん(81)

茶道家(尼崎市) = 茶道家・五代木津柳齋宗詮の長男として生まれ、平成12年に六代木津宗詮を襲名。流派の枠を超えた県内茶道会の発展に貢献しています。



根立 研介さん

根立 研介さん(68)

県文化財保護審議会会長 = 彫刻・工芸の専門家として本県の文化財保護行政に貢献。美術工芸品で29件の新指定に尽力し、歴史文化遺産の積極的な保護を図ってきました。

また、県立考古博物館名誉館長で、当協会の兵庫県生活文化大学(考古学講座)の講師を務める和田晴吾さん(大阪府)も同賞を受賞されました。

### 横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607



- レクイエム 猫と肖像と一人の画家 ~12月15日(日)  
「死」を見つめ、描き続けてきた横尾忠則が、これまでに見送ってきた親しい人々と愛猫に想いを馳せる展覧会。愛しい者たちが彼岸と此岸を往来し、時空を超えて共存するヨコオワールドをご体感ください。  
※観覧料700円ほか【友の会割引あり】

### 市立伊丹ミュージアム ☎072-772-5959



- 伊藤潤二展 誘惑 ~12月22日(日)  
ホラー漫画などを手がける漫画家・伊藤潤二氏の大規模個展。自筆原画やイラスト、絵画に加え、本展描き下ろしの新作も展示します。土日は事前予約制、詳細はHPへ。  
※観覧料1,000円ほか【友の会割引あり】

### 明石市立文化博物館 ☎078-918-5400



- 企画展 明石の布団太鼓Ⅱ - 彫刻と刺繍に見る匠の技 -  
12月14日(土)~2025年1月13日(月・祝)  
明石をはじめ播磨から淡路の祭りで見られる布団太鼓の彫刻や刺繍の数々を披露します。江戸時代から受け継がれる匠の技をご堪能ください。  
※観覧料200円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月12日(木)必着

### 姫路文学館 ☎079-293-8228



- 企画展「生誕120年記念 詩人 坂本遼遠」 12月7日(土)~2025年3月30日(日)  
農民たちの哀歓を土地の言葉で朴訥にうたい、方言詩の新たな地平を開いた加東市生まれの詩人・坂本遼。生誕120年を記念し、膨大な未公開資料とともに寡黙な詩人の足跡をたどります。  
※観覧料450円ほか【友の会割引あり】

### 赤穂市立歴史博物館 ☎0791-43-4600



- 令和6年度特別展「近世の赤穂~大年寄前川家の史料にみる~」  
~2025年1月28日(火)  
江戸時代に町役人の最高位である大年寄を務めた前川家の貴重な史料から、近世における赤穂の歴史をひも解きます。  
※入館料300円ほか

### 丹波市立植野記念美術館 ☎0795-82-5945



- 開館30周年記念 シャガール展 ~12月22日(日)  
20世紀を代表する巨匠、マルク・シャガールの初期から晩年までの8つの版画集から約280点の版画作品を紹介いたします。  
※観覧料600円ほか

### プレゼントのご応募について



- ①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。  
\*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
\*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会にて厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3  
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139

# info 兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日

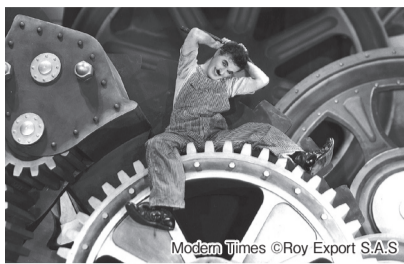


https://www.gcenter-hyogo.jp  
アクセス ▶ 阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)  
■ JR 西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

## 生オケ・シネマ チャップリン「モダン・タイムス」

名曲「スマイル」とともに大画面、生オーケストラでチャップリンの名作映画を観る贅沢企画。中でも人気の高い感動作《モダン・タイムス》を上映します。喜劇王自らの手による音楽が劇場空間に再現され、この作品を何度も観ている方にも新たな発見があることでしょう。ここでしか味わえない臨場感をご堪能ください。

【日時】令和7年2月1日(土) 15時  
【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
【入場料】A席5,000円 B席4,000円、C席3,000円、D席2,000円



モダン・タイムス



## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第157回定期演奏会 アルミンク ブルックナー7番

ウィーン生まれの貴公子アルミンクがタクトを執る定期演奏会。前半は幅広いジャンルで活躍するトロンボーン奏者・中川英二郎が、クラシックとジャズを融合した自身の作品を披露。後半のブルックナー第7番は、作曲当時より多くの聴衆を魅了してきた美しい名作交響曲です。異なる魅力の2曲を同時にお楽しみください！

【日時】令和7年2月21日(金)、22日(土)、23日(日・祝) 各日15時  
【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
【入場料】A席5,000円、B席4,000円、C席2,500円、D席1,000円



クリスティアン・アルミンク



中川英二郎

## ハイバイ「て」

作家・岩井秀人の実の家族をモデルにした劇団ハイバイの代表作と呼び声高い「て」を、劇団20周年の節目に芸術文化センターで初上演！祖母の認知症をきっかけに再集合した家族を描いた「笑うしかない」切実さと、共感が満載の悲喜劇にご期待ください。

作・演出：岩井秀人  
出演：大倉孝二、伊勢佳世、田村健太郎、後藤剛範、川上友里、藤谷理子、板垣雄亮、岡本昌也、梅里アーツ、乙木瓜広／岩井秀人、小松和重  
【日時】令和7年2月1日(土)、2日(日) 各日14時  
【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール  
【入場料】5,500円、25歳以下2,500円(全席指定)



大倉孝二



伊勢佳世



田村健太郎



岩井秀人



小松和重

# info ピッコロシアター・兵庫県立ピッコロ劇団

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940 9時～21時・月曜休み ※祝日の場合翌日



https://piccolo-theater.jp 兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証)  
アクセス ▶ JR 宝塚線塚口駅西出口より、西へ徒歩約5分  
■ 阪急神戸線塚口駅南出口より、南東徒歩約8分

## 2025ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」



桂米團治

【出演・演目】  
「子ほめ」 桂 米舞  
「看板の一」 桂 米團治  
「紙入れ」 桂 團治郎  
「不動坊」 桂 米團治  
～中入～  
『上方落語のお囃子紹介』  
「質屋芝居」 桂 米團治

【日時】令和7年2月2日(日) 14時  
【場所】ピッコロシアター 大ホール  
【入場料】全席指定 一般3,000円  
高校生以下1,500円  
【発売日】12月5日(木)

## 兵庫県立ピッコロ劇団設立30周年記念 ピッコロ劇団ファミリー劇場「さらって行ってよピーターパン」

日本を代表する劇作家・童話作家の別役実が書き下ろした、お馴染みの「ピーターパン」とはひと味違う、おとなも子どもも最高に楽しいピーターパン！ピッコロ劇団の人気演目が、9年ぶり待望の上演！

【作】別役 実 【演出】眞山直則(ピッコロ劇団) 【音楽】谷川賢作  
【日時】12月21日(土)15時★、22日(日)11時★／15時  
★バリアフリー字幕付き公演

【場所】兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール  
【入場料】全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円  
セット券(一般+高校生以下)4,000円 ※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料



さらって行ってよピーターパン

## 兵庫県立ピッコロ劇団設立30周年記念 阪神・淡路大震災30年 シンポジウム「災害と演劇を考えるー繋げる・繋がるためにー」

阪神・淡路大震災から30年の節目に、震災の経験を共有し、演劇界の次世代へと「繋げる」場をつくります。また、各地域で演劇を通して災害に向き合う方々をお招きし、私たちは、いかに災害と対峙し「繋がる」べきかを考えます。

【日時】令和7年1月5日(日)14時～16時30分  
参加無料(要申込)  
【会場】ピッコロシアター 中ホール  
※オンライン配信あり

【内容】  
〈第一部〉阪神・淡路大震災におけるピッコロ劇団および社会的・文化的な状況について  
〈進行・解説〉長沼隆之(神戸新聞論説副委員長)  
〈登壇〉孫 高宏(ピッコロ劇団)  
森 好文(ピッコロ劇団)  
〈第二部〉各地域での取り組み  
〈第三部〉ディスカッション「災害があったとき、演劇に携わる我々には何ができるのか」  
第二・三部の登壇者はピッコロシアターHPをご覧ください。



孫 高宏



森 好文

深山龍洞師、他約300点を出品いたします。何卒ご高覧の上、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

主催：一先会 理事長：横山煌平

後援 兵庫県・兵庫県議会・兵庫県教育委員会・(公財)兵庫県芸術文化協会・神戸市・神戸市議会・神戸市教育委員会・神戸新聞社・読売新聞神戸総局

併催：第22回全国学生書道展

令和7年1月17日(金)～19日(日)  
10:00～17:00(最終日は16:00まで)  
兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

第24回 一先会書展  
― 古典を基にした創作へ ―

## ふれあい文化の祭典 来年3月までのイベント

12月、来年1月と3月開催のイベントをご紹介します。それぞれ入場無料です。詳細は各イベントの事務局にお問い合わせください。

### 西播磨文化フェスティバル ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭

西播磨で活動する合唱グループの発表会。西播の心を素敵なハーモニーで届けます。  
【日時】12月15日(日)13時～16時  
【場所】さよう文化情報センター  
【問い合わせ】  
西播磨文化会館  
☎ 0791-75-3663



### ひょうご演劇祭

※要事前予約

大震災メモリアル 30th 公演「ともちゃんち」を上演。震災を経験したともちゃん姉弟と祖母の「ぐるぐるまわる生命」の物語。  
【日時】令和7年1月23日(休)14時30分～16時  
【場所】ピッコロシアター 大ホール  
【問い合わせ】劇団道化座  
☎078-803-2458



### 兵庫県川柳祭

全国から川柳作品を募り、川柳を作る喜びを知り、川柳への理解を深めます。  
【日時】12月21日(土)13時～16時30分  
【場所】県中央労働センター 大ホール  
【問い合わせ】  
県川柳協会  
☎ 078-360-9005



### 東播磨文化フェスティバル

東・北播磨の各地域で活動する文化団体・グループの発表をご覧ください。  
【日時】令和7年3月8日(土)13時～16時  
【場所】県立嬉野台生涯教育センター 講堂  
【問い合わせ】  
東播磨文化団体連合会 事務局  
☎ 0795-27-7190



## 音楽鑑賞講座 受講生を募集

1月24日、2月21日に開催

お話しと演奏、生演奏鑑賞付きで「音楽」を身近に楽しめる講座として人気の音楽鑑賞講座は、神戸市役所西隣の中央区文化センターで開催しています。

来年1月には能楽を多彩な音色で演出する楽器・小鼓の講座を、2月にはオペラ de 神戸をプロデュースしてこられた井上和世さん、そして数々の主役を務める並河寿美さんらを迎えて、オペラの名場面を楽しむ講座を開催します。現在、各回の受講生を募集しています。

▶1月24日(金) 能楽って何?音楽からはじめる能・狂言 / 講師:高橋奈王子(能楽師 小鼓大蔵流)

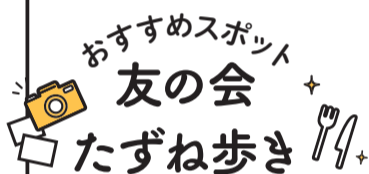
▶2月21日(金) 聞いてみよう!オペラ de 神戸の宝箱 / 講師:井上和世(オペラ de 神戸元プロデューサー)、並河寿美(ソプラノ)ほか

【受講料】1回 2,000円

【申し込み・問い合わせ】文化振興部 ☎078-321-2002



11月の講座では受講生がマリンバ演奏に挑戦



## 南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 直原玉青画伯 南画芸術の世界 奇跡の大発見「松帆銅鐸」も

淡路島の南西部に日本で初めてという現代南画の美術館があります。島で育った直原玉青(本名・正)(1904～2005)の作品を収蔵・展示する「南あわじ市滝川記念美術館 玉青館」です。

明治後半、岡山県で生まれた玉青は2歳で淡路島の洲本に移住。23歳で大阪に出て南画の制作活動を展開し、101歳で亡くなるまで現代南画の普及・発展に尽くしました。一方で禅の修行を積み、黄檗宗の僧籍を取る傍ら、俳人としても才能を発揮。自ら『句画禅一如』の精神を貫き、独自の芸術を確立したとされます。

玉青は76歳の時、荒寺となっていた旧西淡町の禅寺・国清寺を復興し住職となります。さらに寺の土地を公共のために役立てたいと町に申し出ます。玉青の芸術と人柄に魅かれた地元の開業医・滝川弘氏は後世に伝えたいとの思いから美術館の建設費を全額寄付し1991(平成3)年、玉青87歳の時に玉青館が開館します。

建物は中国風で、台湾の故宮博物院を模したとされます。1階展示室では代表作「禅の牧牛うしかひ草」が見られます。元々は全長約30mの絵巻物作品を12の画面構成で展示。人間の本来あるべき心の姿を「牛」にたとえ、「純粹性を取り戻す禅の修行の話を描いています」と学芸員の崎薫さんは話します。



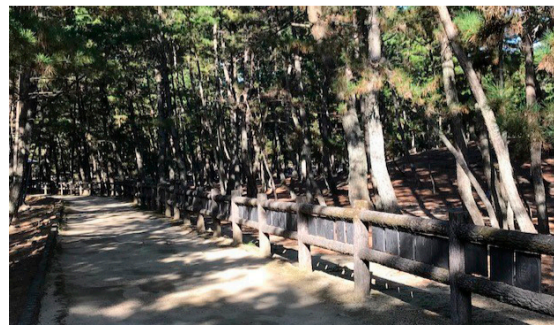
1階展示室の作品「禅の牧牛 うしかひ草」

1階ホールから見上げた天井には、正八角形で対角が約5mの「雲龍図」が描かれています。玉青が87歳の時に一晩で描き上げたという作品で、足元を見ると頭上の龍が井戸の中で動いているように見えます。

2階展示室のメインは地元で発見された「松帆銅鐸」です。2015(平成27)年、砂利加工会社の砂山から7点の銅鐸が見つかり「奇跡の大発見」と言われました。劇的な発見の経緯や、銅鐸の中から「舌」という青銅製の棒が7本見つかったこと、舌とともに残っていた紐や植物片から埋められた年代を特定できたことなど全国的にも注目を集めました。

松帆銅鐸7点は弥生時代に儀式で音を鳴らす目的で使われた「聞く銅鐸」で県の重要有形文化財に指定されています。銅鐸はその後大型化し「見る銅鐸」へと移り変わっていきます。

### 慶野松原に「プロポーズ街道」



慶野松原の「プロポーズ街道」

同じ松帆地区の海沿いには景勝地の慶野松原があり、約2.5kmに渡って約5万本のクロマツ林が広がっています。この中に1997(平成9)年、旧西淡町によって散策路「プロポーズ街道」が整備されました。淡路島特産の瓦に「変わらぬ愛」の言葉をかけた「プロポーズ瓦」が木の柵



玉青館の外観



### おでかけ ちょっとメモ

▶南あわじ市滝川記念美術館 玉青館＝南あわじ市松帆西路1137-1。開館時間は9時～17時(入館は16時半まで)。休館は月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始。入館料は大人300円(270円)、大・高生200円、中・小生100円。特別展は別料金。( )内は当協会友の会料金。高速バス「陸の港西淡」下車、タクシーで約5分。車の方は神戸淡路鳴門自動車道「西淡・三原IC」から約5分。☎0799・36・2314

▶慶野松原＝南あわじ市松帆古津路。1928(昭和3)年、国の名勝に指定。1955(昭和30)年に瀬戸内海国立公園(自然公園)に指定。「日本の渚百選」「日本の水浴場88選」「日本の夕陽百選」にも選ばれている。

### 読者プレゼント

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館の招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。12月12日(休)必着。

### Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs



に並んでいます。瓦にはハートマークと様々な誓いの言葉が刻まれ、恋人たちが愛を確かめ合う人気のスポットとなっています。